

伊藤忠エネクス株式会社

(東証プライム 証券コード：8133)

2023年3月期 決算補足説明資料

2023年4月28日

ご注意

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り及び当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。したがって、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

- 本資料の数値について、特に断りのない場合はすべて国際会計基準（IFRS）ベースで記載しています。
- 本資料では、下記のとおり表記を置き換えております。

「営業活動に係る利益」	⇒ 「営業利益」
「当社株主に帰属する当期純利益」	⇒ 「当期純利益」

業績ハイライト

2023年3月期 決算概要

- 「**当期純利益**」は、前期差 6億円増加の**138億円**、8期連続で**過去最高益**を更新。
- 産業ビジネス事業が好調に推移したことにより、電力・ユーティリティ事業での電力小売事業のマイナス影響と前期の一過性利益の反動を吸収し好決算。

売上収益

1兆120億円 (前期比+8.1%)

営業利益

214億円 (前期比+2.1%)

売上
総利益

896億円 (前期比+7.1%)

当期
純利益

138億円 (前期比+4.8%)



目次

◇ 2023年3月期決算概要

- ① 全社概要
- ② セグメント別概要

◇ Appendix

2023年3月期決算概要

① 全社概要

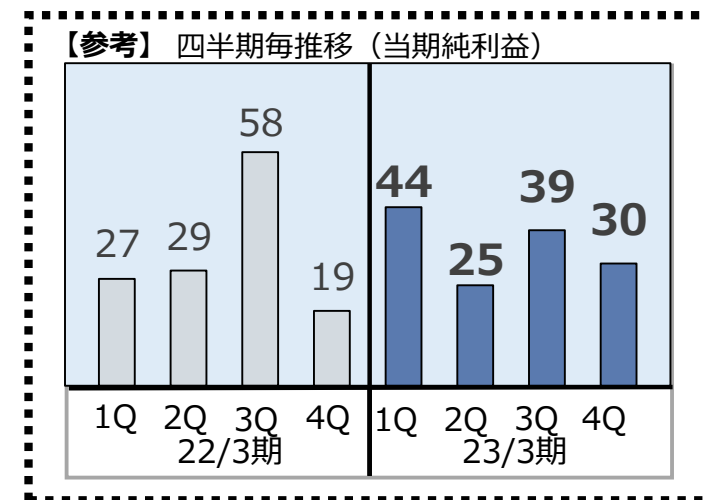
2023年3月期 決算/サマリー

産業ビジネス事業が好調に推移し、8期連続で過去最高益を更新

(億円)	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減
売上収益	9,363	10,120	+757
売上総利益	836	896	+60
販管費	▲681	▲689	△8
営業利益	209	214	+4
持分法による投資損益	24	24	△0
当期純利益	132	138	+6
売上総利益に対する販管費率	81.4%	76.9%	△4.5 pt
年間配当 (円/株)	48	50	+2

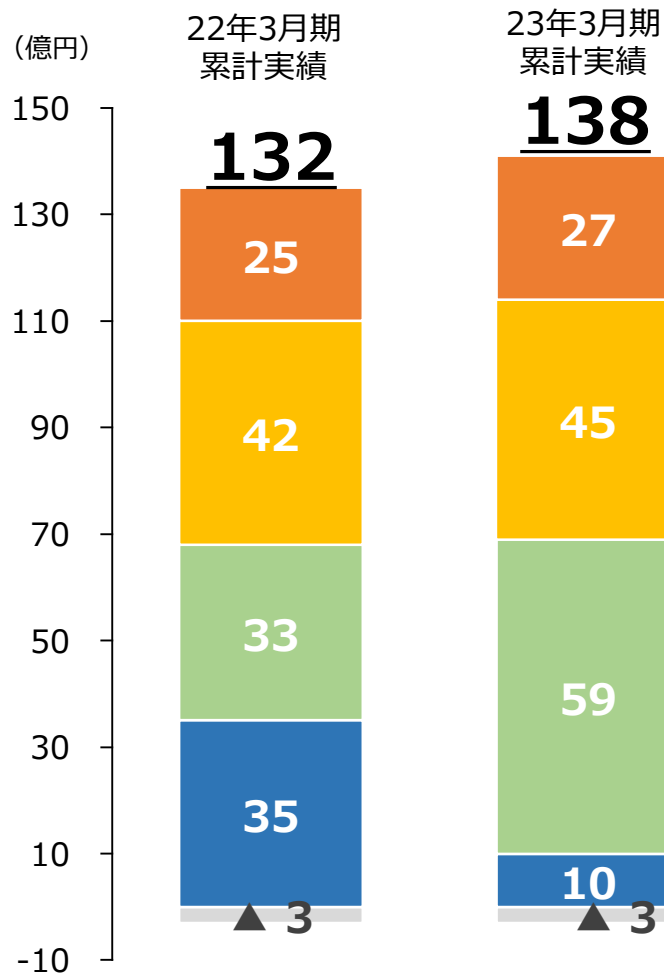
23年3月期 通期計画	達成率
10,000	101%
194	110%
130	106%

- 「当期純利益」は、前期差6億円増加の138億円。
- 産業ビジネス事業が好調に推移したことにより、電力・ユーティリティ事業での電力小売事業のマイナス影響と前期の一過性利益の反動を吸収し好決算。
- 年間の配当金は前期実績から、2円増配の50円/株となる予定。



セグメント別 当期純利益

産業ビジネス好調により一過性利益の反動を吸収し増益



主たる増減要因

■ ホームライフ(前期差：+3億円、計画達成率：104%)

LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響も、持分法利益増加等により増益

■ カーライフ(前期差：+3億円、計画達成率：106%)

CS※小売事業が堅調に推移したこと、ディーラー事業の台当たり粗利益向上により増益

■ 産業ビジネス(前期差：+26億円、計画達成率：210%)

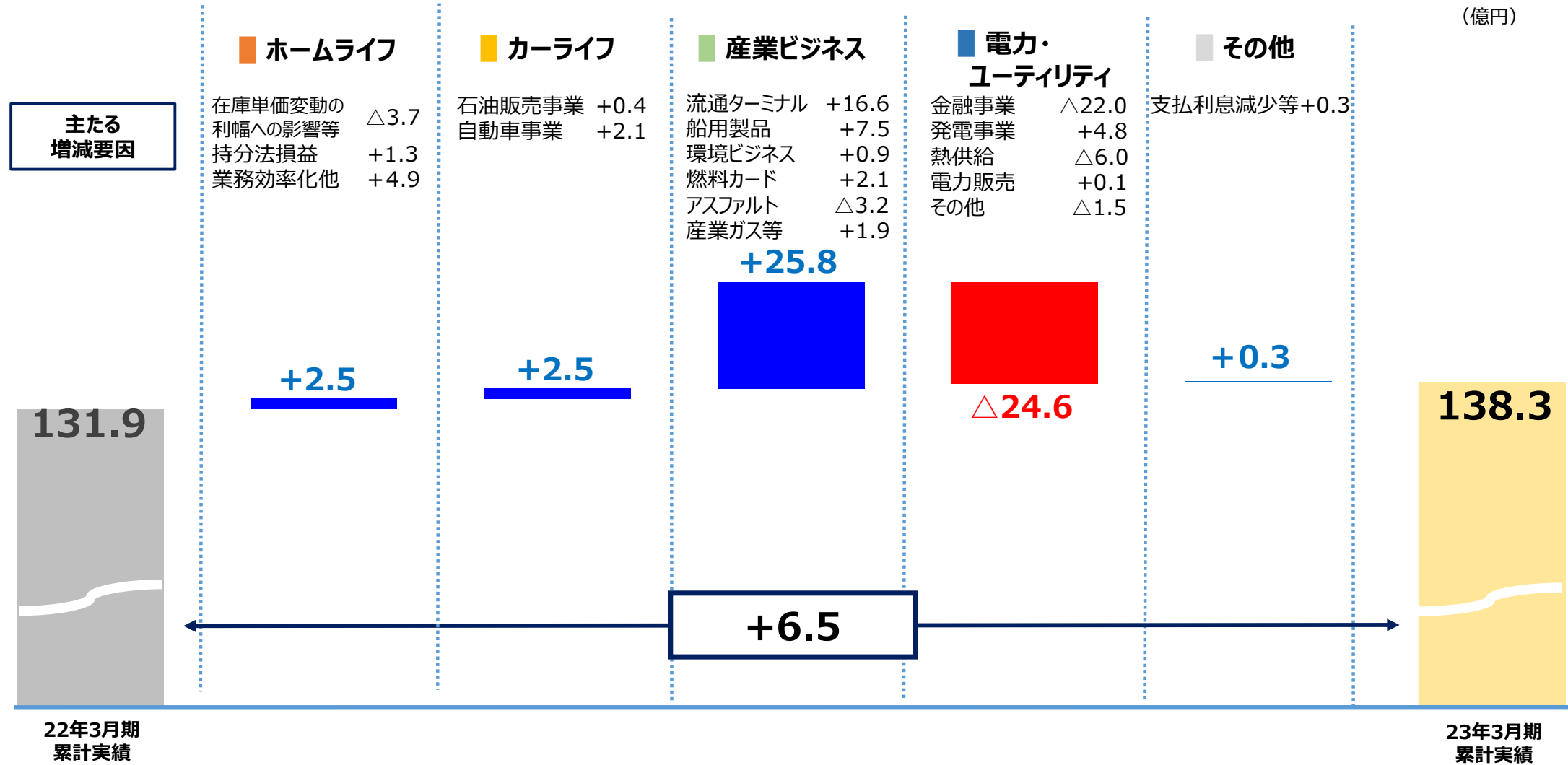
各事業が好調に推移したことに加え、市況変動等を効果的に捉え採算向上により大幅増益

■ 電力・ユーティリティ(前期差：△25億円、計画達成率：28%)

電力小売利幅縮小に加え、メガソーラー子会社化に伴う評価益の反動により大幅減益

(※) CSとは、カーライフ・ステーションの略であり、当社が提案する複合サービス給油所

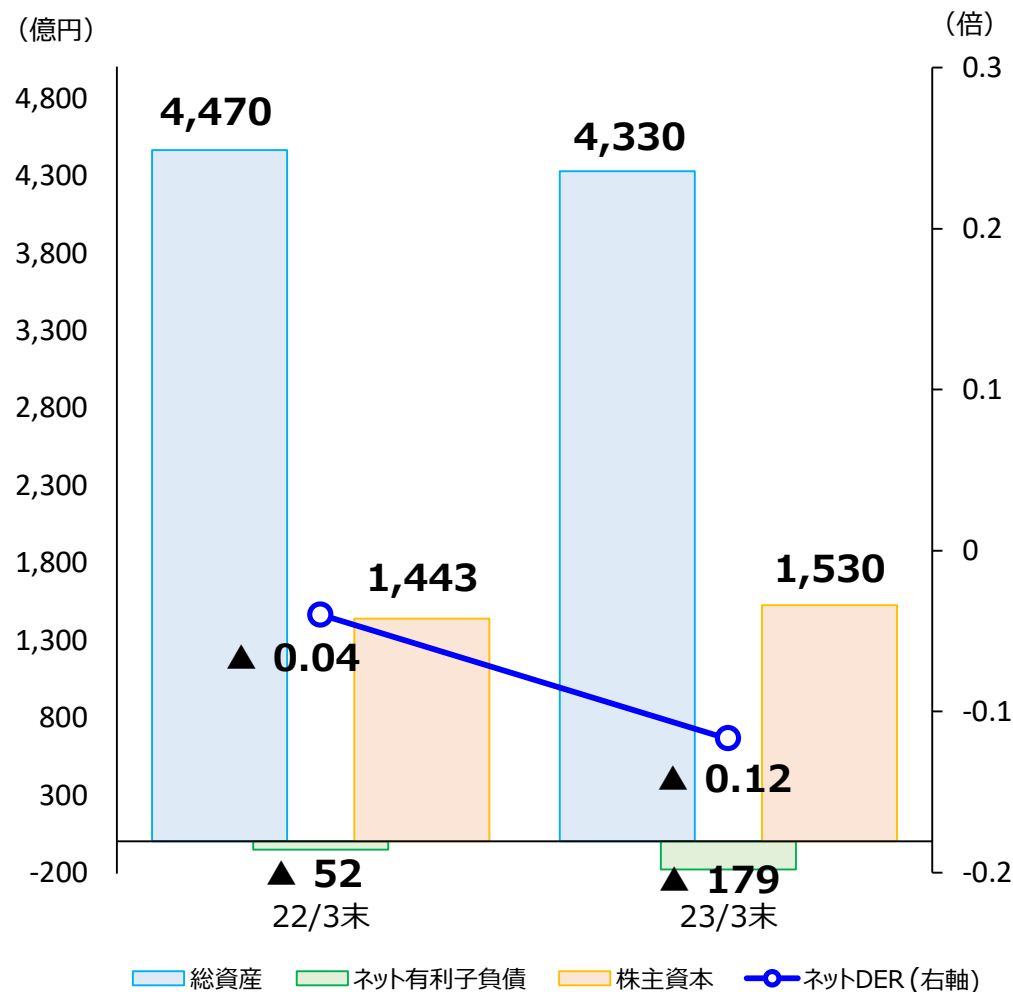
セグメント別 当期純利益分析



発電所の売却等により総資産減少

- **総資産** : 発電所の売却等により、前期末比140億円減少し、**4,330億円**。
- **株主資本** : 当期純利益の積上げ等により、前期末比**87億円**増加し、**1,530億円**。
- **ネットDER** : 社債・借入金の返済により、ネットDERが前期末比0.08倍減少し、**▲0.12倍**。

	22年3月末 実績	23年3月末 実績	増減
総資産	4,470	4,330	△ 140
ネット有利子負債	▲52	▲179	△ 127
株主資本	1,443	1,530	+ 87
株主資本比率	32.3%	35.3%	+3.0 pt
ネットDER	▲0.04倍	▲0.12倍	△0.08倍

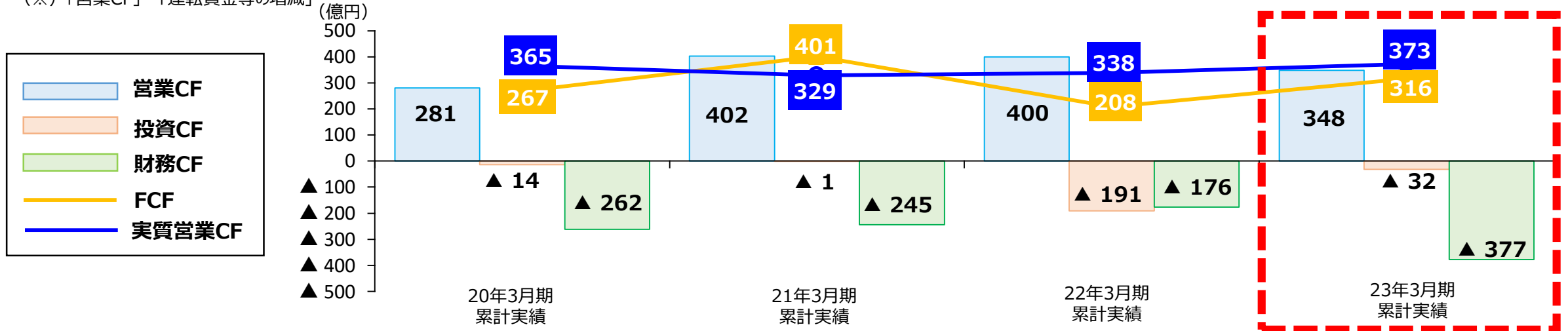


キャッシュ・フロー

潤沢な営業CF創出を継続、財務CFは社債及び借入金の返済等により減少

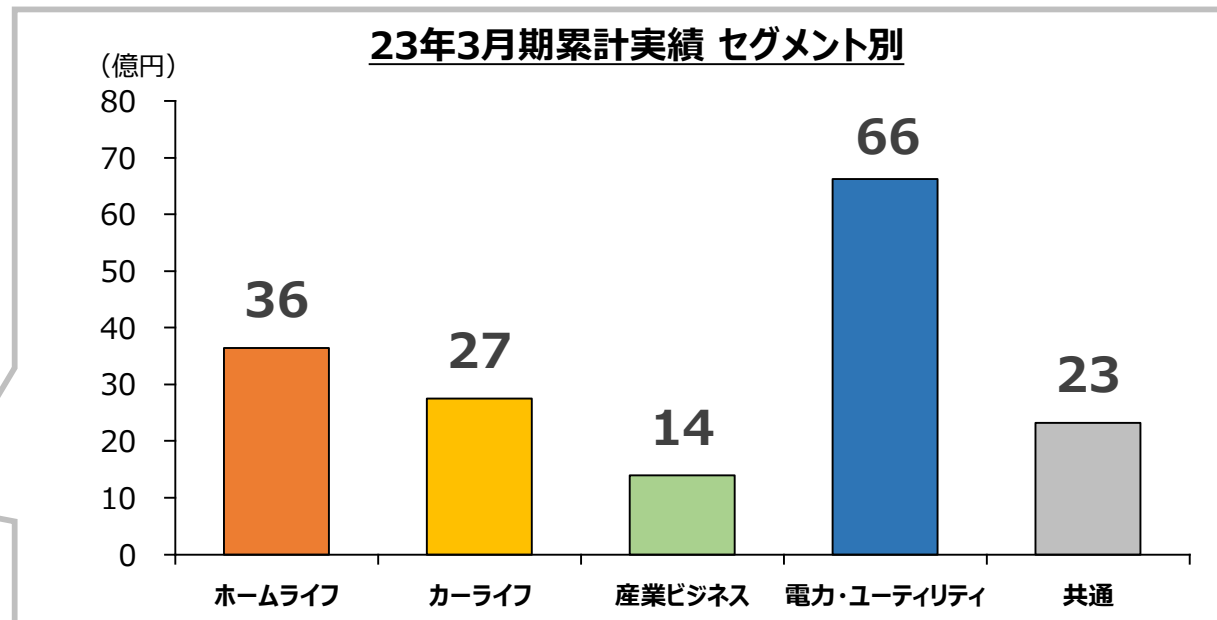
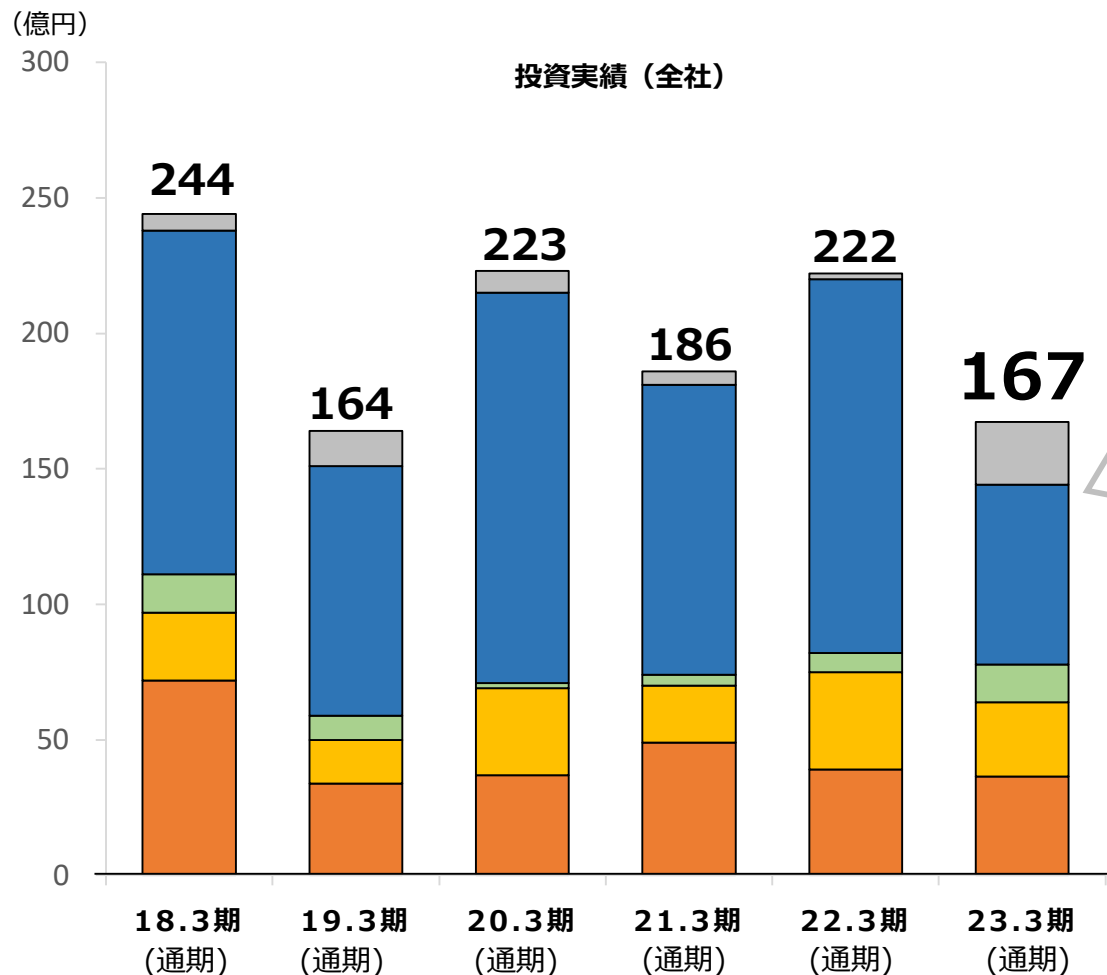
キャッシュ・フロー	20年3月期 累計実績	21年3月期 累計実績	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績
営業活動によるキャッシュ・フロー	281	402	400	348
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲14	▲1	▲191	▲32
(フリー・キャッシュ・フロー)	267	401	208	316
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲262	▲245	▲176	▲377
実質的なキャッシュ・フロー				
実質営業キャッシュ・フロー (※)	365	329	338	373

(※) 「営業CF」-「運転資金等の増減」



投資の推移

基盤強化を着実に実施するも、成長投資の加速が課題



主な投資実績

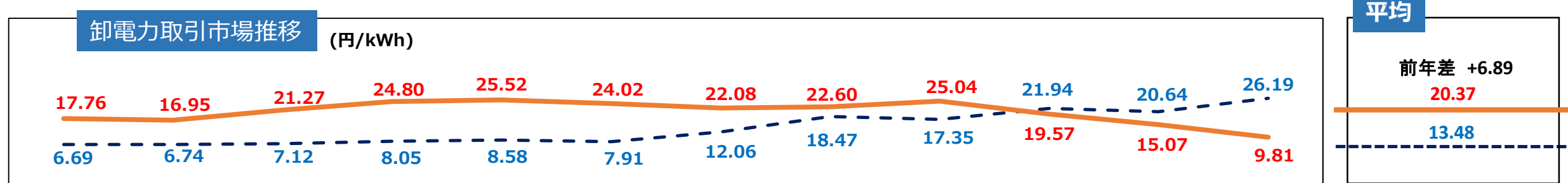
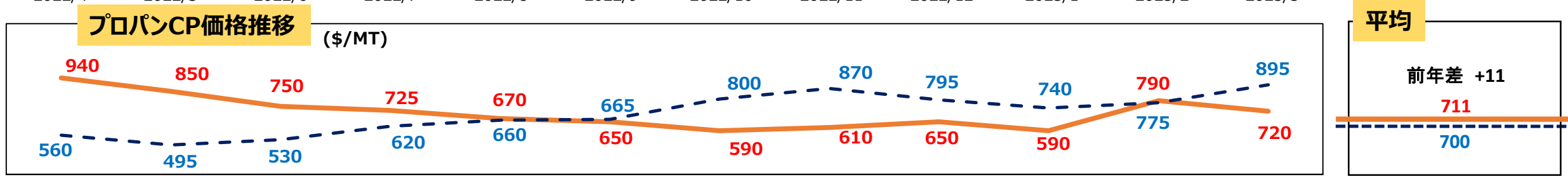
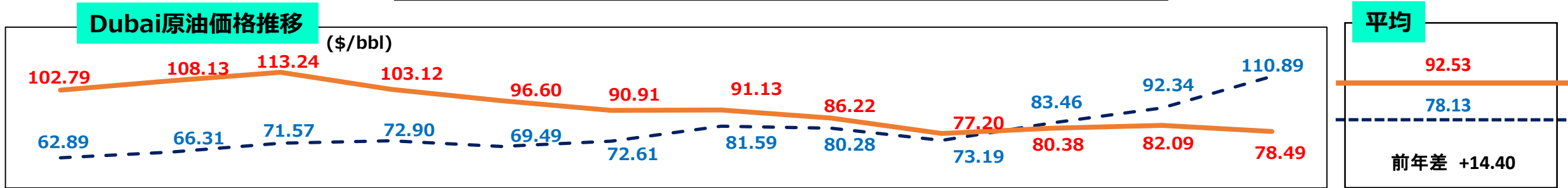
ホームライフ	営業権買収、LPG充填所改修、LPWA (※) 等
カーライフ	オークション事業出資、CS及びディーラー店舗改修 等
産業ビジネス	石油ターミナル改修 等
電力・ユーティリティ	太陽光・水力発電所及び熱供給設備 等
共通	基幹システム再構築 等

(※) Low Power Wide Areaの略称であり、消費電力を抑えて遠距離通信を実現する通信方式

(参考) 市場動向

原油、電力価格は下落傾向、CPは期初に比べ安値圏で推移

—— 2022年度 - - - - 2021年度



2023年3月期決算概要

② セグメント別概要

セグメント別業績

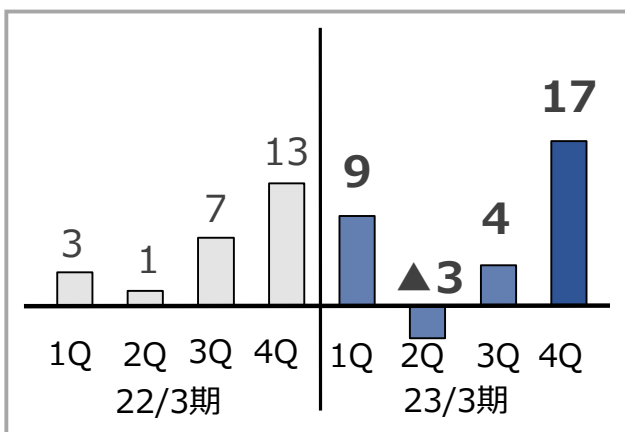
		(億円)					
		22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減	増減率 %	23年3月期 通期計画	達成率
■ 全社	売上収益	9,363	10,120	+757	+8.1%	10,000	101%
	営業利益	209	214	+4	+2.1%	194	110%
	当期純利益	132	138	+6	+4.8%	130	106%
■ ホームライフ	売上収益	850	842	△8	△0.9%	—	—
	営業利益	23	20	△3	△11.1%	—	—
	当期純利益	25	27	+3	+10.3%	26	104%
■ カーライフ	売上収益	5,384	5,636	+252	+4.7%	—	—
	営業利益	80	90	+9	+11.5%	—	—
	当期純利益	42	45	+3	+6.0%	42	106%
■ 産業ビジネス	売上収益	2,118	2,445	+327	+15.4%	—	—
	営業利益	46	85	+39	+83.7%	—	—
	当期純利益	33	59	+26	+78.0%	28	210%
■ 電力・ ユーティリティ	売上収益	1,011	1,197	+186	+18.4%	—	—
	営業利益	62	22	△40	△65.0%	—	—
	当期純利益	35	10	△25	△70.5%	37	28%

ホームライフ部門

LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響も、持分法利益増加等により増益

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減	主たる増減要因	(億円)	
					23年3月期 計画	達成率
売上総利益	196	181	△15	直売顧客軒数は、新規顧客の獲得や営業権買収の推進により、前期末より約8千軒増加の約565千軒。LPガス販売数量は、需要期の平均気温が前期を上回ったことと価格高騰による節約志向により、前期を下回る。損益面は、LPガス輸入価格の下落に伴う在庫単価変動の利幅への影響があった一方、持分法適用会社の取込利益の増加等により増益。	26	104%
販管費	▲173	▲ 162	+11			
営業利益	23	20	△3			
持分法損益	20	21	+1			
当期純利益	25	27	+3			

四半期毎推移 (当期純利益)



主な関係会社損益

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減
伊藤忠エネクス ホームライフ西日本	7	6	△1
エコア (当社持分51%)	8	6	△2
エネアーク (当社持分50%)	9	9	+1

顧客軒数(千軒)

	22年 3月末	23年 3月末	増減
LPガス直売軒数	557	565	+8

販売数量

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減比
LPガス(千トン)	465	452	△3%

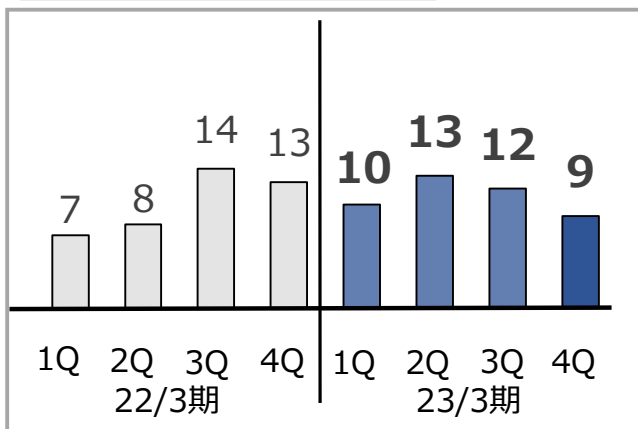
カーライフ部門

CS小売事業が堅調に推移したこと、ディーラー事業の台当たり粗利益向上で増益

(億円)

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減	主たる増減要因	23年3月期 計画	達成率
売上総利益	477	491	+14	CS数は前期末より26カ所減少し、1,610カ所。石油製品の販売数量は前期からわずかに増加。自動車販売台数は、新型車の受注が好調であったが半導体不足による生産台数の減少により、前期を下回る。 損益面は、CS小売事業が堅調に推移し、ディーラー事業も台当たり粗利益向上により増益。	42	106%
販管費	▲397	▲402	△4			
営業利益	80	90	+9			
持分法損益	1	▲1	△2			
当期純利益	42	45	+3			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減
エネクスフリート	16	20	+4
大阪カーライフグループ (当社持分51.95%)	9	11	+2

販売数量

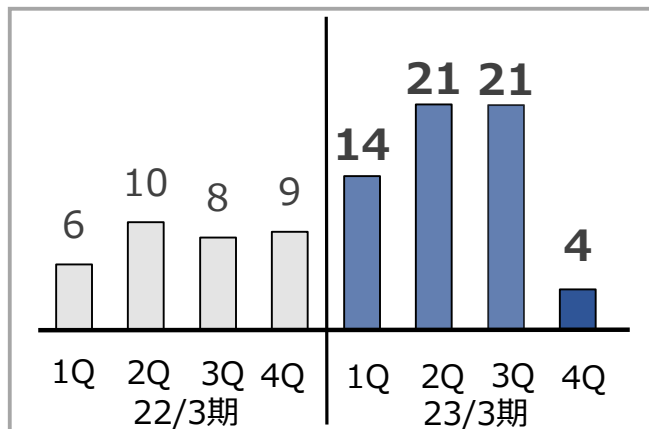
	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減比
ガソリン(千KL)	2,113	2,129	+1%
灯油(千KL)	620	651	+5%
軽油(千KL)	2,333	2,348	+1%
新車(千台)	25	25	△1%
中古車(千台)	20	18	△12%

産業ビジネス部門

各事業が好調に推移したことに加え、市況変動等を効果的に捉え採算向上により増益

				主たる増減要因	(億円)	
	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減		23年3月期 計画	達成率
売上総利益	92	153	+61	船舶燃料事業は外航船向けの重油販売が堅調に推移し、法人向け自動車燃料給油カード事業は新規顧客開拓を進めたことにより販売数量は前期を上回る。損益面は、各事業が好調に推移したことや、流通ターミナル事業がターミナル機能を駆使し、内外価格差や市況変動を効果的に捉え採算を向上させたことにより増益。	28	210%
販管費	▲57	▲62	△5			
営業利益	46	85	+39			
持分法損益	0	1	+0			
当期純利益	33	59	+26			

四半期毎推移（当期純利益）



主な関係会社損益

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減
伊藤忠工業ガス	2	3	+2

販売数量

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減比
重油(千KL)	1,673	1,566	△6%
アスファルト(千t)	259	258	△0%
産業用ガス(千t)	67	65	△3%
アドブルー(千KL)	87	96	+13%

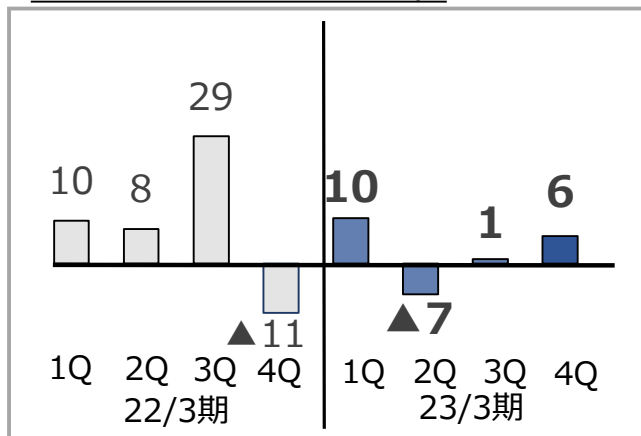
電力・ユーティリティ部門

電力小売利幅縮小及びメガソーラー子会社化に伴う評価益の反動により減益

(億円)

	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減	主たる増減要因	23年3月期 計画	達成率
売上総利益	71	71	+0	電力小売事業のうち、低圧は新規契約の獲得により前期を上回るが、高圧は採算販売により前期を下回り、全体では前期を下回る。熱供給事業は、今夏の平均気温が前年同期を上回ったことに伴う空調利用の増加により販売熱量は前期を上回る。 損益面は、資源価格の高騰による調達価格の上昇で電力小売利幅が縮小したこと、メガソーラーの子会社化に伴う評価益の反動により減益。		
販管費	▲51	▲ 60	△9			
営業利益	62	22	△40			
持分法損益	3	3	△0			
当期純利益	35	10	△25		37	28%

四半期毎推移（当期純利益）



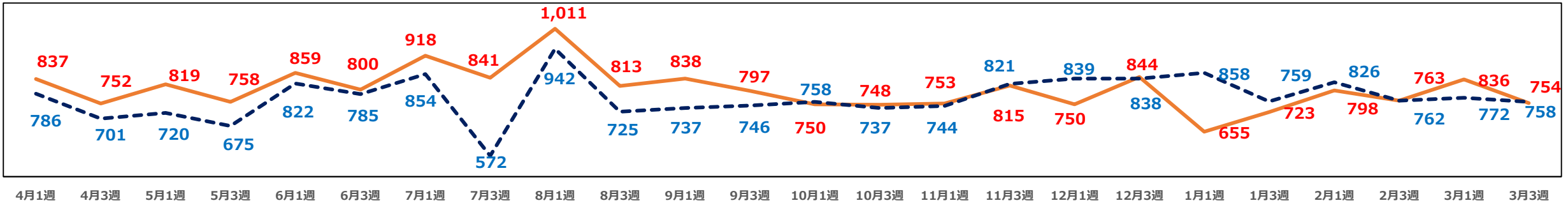
主な関係会社損益	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減	販売数量	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減比	
エネクス電力グループ	5	9	+5	電力小売 (GWh)※	2,472	2,010	△19%	
エネクスライフサービス	3	3	+1	内訳	高圧販売※	1,781	1,176	△34%
東京都市サービス (当社持分66.6%)	7	1	△6		低圧販売※	691	834	+21%
王子・伊藤忠エネクス電力販売 (当社持分60.0%)	5	6	+2	蒸気(千トン)	475	411	△13%	
顧客件数 (千件)	22年3月期 累計実績	23年3月期 累計実績	増減	熱量(TJ)	1,229	1,238	+1%	
電力供給件数 (全社計)	280	334	+54	※速報値ベースでの算出、電力小売については、取次数量を含む				

Appendix

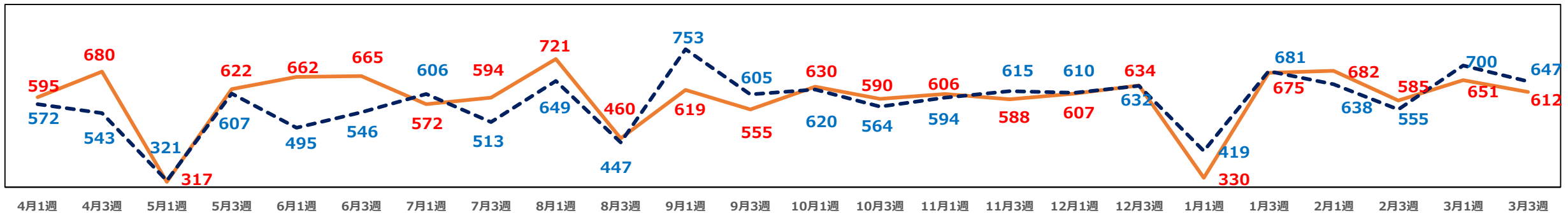
Appendix

【参考】 ガソリン・軽油の国内出荷状況(全国統計)

ガソリン週間出荷量 単位(千kL)



軽油週間出荷量 単位(千kL)



※ 石油連盟の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】LPガス月別販売数量(3月～2月 全国統計)

単位(千 t)

	3月			4月			5月			6月			7月			8月		
	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減
家庭・業務用	764	806	+5%	616	621	+1%	522	529	+1%	494	499	+1%	458	448	△2%	405	402	△1%
自動車用	31	31	+0%	30	31	+3%	26	30	+15%	30	32	+5%	33	34	+2%	31	32	+2%
合計	795	837	+5%	646	652	+1%	548	559	+2%	524	530	+1%	491	482	△2%	436	434	△0%

	9月			10月			11月			12月			1月			2月			合計		
	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	前年 年間	直近 年間	増減
家庭・業務用	442	440	△1%	509	492	△3%	618	621	+0%	849	810	△5%	835	822	△2%	800	765	△4%	7,312	7,256	△1%
自動車用	29	31	+8%	33	30	△8%	31	31	+0%	37	32	△13%	30	28	△8%	26	28	+8%	367	369	+1%
合計	471	471	+0%	542	523	△4%	649	652	+0%	886	843	△5%	865	850	△2%	826	793	△4%	7,679	7,625	△1%

※ 日本LPガス協会の統計資料を基に作成

Appendix

【参考】新車／月別販売台数(普通車・小型車、軽自動車)(4月～3月 全国統計)

単位(千台)

	4月			5月			6月			7月			8月			9月		
	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減
普通・小型車	183	154	△16%	166	136	△18%	198	170	△14%	213	187	△12%	176	154	△12%	170	212	+25%
軽自動車	106	91	△14%	96	75	△21%	99	98	△0%	97	101	+5%	88	80	△9%	87	113	+30%
合計	288	244	△15%	262	212	△19%	297	268	△10%	309	288	△7%	264	234	△11%	257	325	+26%

	10月			11月			12月			1月			2月			3月			合計		
	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2021	2022	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	2022	2023	増減	前年 年間	直近 年間	増減
普通・小型車	151	186	+24%	189	193	+2%	191	181	△5%	182	202	+11%	185	237	+28%	285	330	+16%	2,287	2,341	+2%
軽自動車	80	110	+37%	103	115	+12%	89	104	+17%	91	118	+30%	105	120	+14%	142	148	+4%	1,181	1,272	+8%
合計	230	296	+28%	292	308	+6%	280	284	+1%	272	320	+17%	290	356	+23%	426	478	+12%	3,468	3,614	+4%

※ 日本自動車販売協会連合会 及び 全国軽自動車協会連合会の統計資料を基に作成

問い合わせ先

IR・企画課 **担当：今泉、中村**
【TEL】03-4233-8025 **【FAX】03-4533-0103**
【E-MAIL】enex_irpr@itcenex.com